

令和5年度教育研究活動報告書

氏名	神崎稔章	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経済学）	職位	准教授
専門分野	金融論		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰa/b、専門演習Ⅱa/b、アジア経済事情、金融論Ⅰ、金融論Ⅱ、国際金融論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）邦銀の収益性とIT	
（2）国債管理と金融市場	
（3）金融政策	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R5・R4・R3	
R5 〈論文〉神崎稔章「邦銀のIT投資とその経済的帰結—付加価値アプローチを用いた検討—」（吉田政之氏・木村文則氏との共著）、『尾道市立大学経済情報論集』、第23巻第1号、2023年6月、63—81頁。 〈発表〉神崎稔章「邦銀のIT投資とその経済的帰結—付加価値アプローチを用いた検討—」（吉田政之氏との共著）、日本金融学会秋季全国大会（九州大学、福岡）2023年9月。	
R4 〈論文〉神崎稔章（2023）「銀行隔離に関する考察—ナロウバンク、リングフェンスを中心に—（A Study of Bank Segregation: Narrow Banking and Ring-Fencing）」、『尾道市立大学経済情報論集』、第22巻第2号、2023年1月、31—57頁。	
R2以前の主な研究業績	
（1）H30 〈論文〉「イギリス短期金融市場と信用」、『尾道市立大学経済情報論集』Vo.18, No.1, 29-46頁。	
（2）H30 〈論文〉「投資家層と鉄道業の発展」、『尾道市立大学経済情報論集』Vo.18, No.1, 47-72頁。	
（3）H30 〈論文〉「自然災害に対応するARTの発展と課題(2)」、『尾道市立大学経済情報論集』Vol.17, No.3, 89-107頁。	
（4）H29 〈論文〉「1980年代アメリカ金融市場の様相—1970年代後半から1980年代前半を中心に—(1)」、『尾道市立大学経済情報論集』,Vol.17, No.2, 137—158頁。	
（5）H29 〈論文〉「自然災害に対応するARTの発展と課題(1)」、『尾道市立大学経済情報論集』,Vol.17, No.2, 159—171頁。	
（6）H29 〈論文〉「多地域への影響を考慮した熊本地震の越境性測定と復興のための金融措置」（岡本隼輔氏との共著）、『尾道市立大学経済情報論集』,Vol.17, No.1,6月, 41—55頁。	
（7）H25 〈論文〉「北海道を中心とする地域経済と地域金融」、『金融構造研究』、(35) 23-36頁（2013）。	
（8）H24 〈論文〉 An Analysis of the Saving and Investment Balance in Hokkaido from the Perspective of Long-term Data, EIER, Springer, pp.25-42, Vol. 9 (2012).	
（9）H23 〈論文〉 On the behavior of money flows on the real side and the financial side in Hokkaido prefecture, CBC Discussion paper series (132) pp.1-19, (2011).	
（10）H22 〈論文〉「北海道の貯蓄投資バランスに関する考察」、『商学討究』、小樽商科大学、第60巻第4号、117-141頁（2010）。	
（11）H30 〈発表〉「イギリスの産業発展と金融」、信用理論研究会（西南学院大学、福岡）、2月。	
（12）H30 〈発表〉「自然災害の動向とリスクファイナンス」、証券経済学会（関西学院大学梅田キャンパス、大阪）9月。	
（13）H29 〈発表〉「自然災害とリスク金融」、SGCIME（東京）、3月。	
（14）H24 〈発表〉 On the Behaviors on the Real Side and Financial Side in Hokkaido Prefecture（日本金融学会、立正大学、2012年4月）。	